

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①新生児への支援	緊急事態宣言中は、マスクや新生児のための沐浴用ガーゼが不足し、妊産婦は出産時の感染リスク等、精神的な不安がある中での出産となった。他の自治体のように4月27日以降に生まれた新生児にも特別定額給付金を給付するなど、新生児に対する支援を検討してもらえないか。	基準日以降に生まれた子どもへの対応は、今後第2波・第3波に向けて検討していきたいと思っています。また、ご提言については、子ども課と市民健康センターで検討したいと思います。(4月27日以降、今年度末までに生まれた子どもに対し、5万円相当の商品券をお渡しすることになりました。)
②姉妹都市交流補助金(1)	例年、田中小学校は姉妹都市である長野県小諸市の坂の上小学校と人の往来のある交流を実施してきたが、今年は新型コロナウイルスの影響で直接の交流が難しく、ビデオレターでの交流を実施する予定としている。坂の上小学校は小諸市から補助をもらいケーブルテレビでビデオレターを作成するそうだが、滑川市は人の行き来がないと補助の対象にならないと言われた。このままでは、対応の差がでることが懸念される。ビデオレターの作成に対しても補助対象となるように検討していただけないか。	滑川市の姉妹都市交流補助金は、人と人が触れ合い、語らう交流の支援を目的としており、ビデオレターの交換は補助対象外と考えています。
③姉妹都市交流補助金(2)	小諸交流20周年記念誌を発行した際に、市から助成を受けた記憶がある。そういった点も参考にした上で、小諸市との交流について何か助成できるようであればしてあげてほしい。	記念誌の発行への助成については、どのような支援をしたのか改めて確認します。今回のビデオレターは一時的なものであって、来年度以降状況が整えば人が行き来する交流が再開されるものと考えており、一時的な対応のために、補助金の規則を改正することは難しいと考えています。

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
④側溝	滑川郵便局から滑川自動車学校にかけての歩道(市道菰原辰野線)は通学路だが、側溝のふたが古くひびが入っており、子どもが足をひっかけてケガをしたこともある。毎年少しずつ交換してもらってはいるが、全線の改修を検討してもらいたい。	市道菰原辰野線は歩道が狭いため、拡張を検討していますが、現在県や国と調整中のため、大規模な歩道の整備にはもう少し時間を頂きたいと思います。側溝のふたについては、報告を受けた段階で、建設課で交換を進めていますが、ご指摘の箇所が多く、全線を直すことは難しいので、その都度対応させていただきます。
⑤キラリンプレミアム応援券(1)	キラリンプレミアム応援券は市民が1万円で購入し、2千円分を市が負担するものだと思うが、なぜ問い合わせ先が商工会議所になっているのか。どこまで市が関与しているものなのか。	1冊1万円で購入できる1万2千円分のキラリンプレミアム応援券を7月17日(金)に販売し、8月2日(日)の再販売でほぼ売り切れとなりました。キラリンプレミアム応援券の販売は、市の事業として実施していますが、業務を商工会議所に委託しています。専用券6枚、共通券6枚という内訳は、商工会議所と相談の上、商業者からの要望を取り入れた形となっています。
⑥キラリンプレミアム応援券(2)	キラリンプレミアム応援券の発売日は金曜日であり、共働きの世帯は購入しにくい日時に設定されていたと思う。なぜ土日の販売ではなかったのか。	これまで、キラリンプレミアム応援券の販売は土日に行ってききましたが、今回は購入時の密を避けるために金曜日の販売としました。できるだけ多くの方に購入いただけるように、当初は購入制限を2セットまで、再販時には5セットまでとし、ほぼ完売したところです。
⑦特別定額給付金	特別定額給付金について、市内全世帯に発送し、現在申請のない世帯はどれくらいおり、市としてどのように対応するつもりなのか。また、申請がない世帯について、町内会として個別に対応することも考えたいが、市に問い合わせさせてもらえるものなのか。	市内には約12,500世帯があり、7月28日現在の申請率は98.7%で、残り157世帯となっています。西地区全体では20数世帯が未申請です。これまで広報やHP、ケーブルテレビで周知してきたほか、未申請者には、個別に7月10日に案内を発送したところです。今後、未申請者には再度個別に案内する予定です。また、高齢者の中には、申請方法が分からない場合もあると思いますので、民生委員に声かけしてもらえよう検討しています。なお、未申請者の情報提供については、担当部局と相談したいと思います。

R2夏に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

滑川西地区

提言等の項目	R2夏に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑧訴訟	教職員が亡くなった件について、裁判になっているようだが、何を訴えられているのか。	現在、係争中のため多くのことはお話しできません。学校の設置者である滑川市が、学校の管理責任等について訴えられているという状況です。
⑨津波(1)	呉羽山断層による地震では、地震発生から3分で津波が到達すると言われているが、3分とは地震が発生してから3分か、揺れが収まってから3分か。	詳細については、確認させていただきますが、断層のずれによって津波が発生することになると思いますので、地震が発生してから3分だと考えられます。
⑩津波(2)	呉羽山断層、富山湾西断層、糸魚川断層によって津波の到達時間が異なるそうだが、地震発生時にどこの断層の津波か通知することができないか。	ご提言については、難しいところがあると考えます。どの断層で起きた地震か分析している間に、避難してもらった方が早いと思います。地震や津波は突発的に発生する災害であるため、市の発令を待つことなく、自主的に避難してもらうことが重要です。日頃から、緊急時の行動について意識を高め、十分な備えをお願いします。
⑪沖田川放水路	豪雨時に、沖田川放水路のゲートを開けば、浸水を防ぐことができる地域もあるのではないかと思う。緊急時にゲートを開閉するような対応を検討してもらいたい。	沖田川放水路のゲートは、海岸から入る水を防ぐとともに、ボックスの中に溜まった土砂を撤去する際に、止水用として使用するために設置されていると聞いています。豪雨時にゲートを開けば海岸に水が流れると思いますが、ゲートを撤去しても全く浸水しないという保証はできません。ゲートの開閉については、県に対策ができないか確認します。